



議会だより

No.81

2025年2月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 清塚 武敏
編集：議会広報編集特別委員会

作品介绍

久しぶりに積もった雪と青空に空想する柴犬の後ろ姿を写真に収めました。

タイトル

「冬めく」（ふゆめく）

六日町高等学校写真部

1年

秋山 あきやま

侑奈 ゆうな



表紙写真については、高等学校写真部にご依頼させていただいています。

目次

令和6年度一般会計補正予算審議 ……	2～3ページ	一般質問 16名が市政を質す ……	6～13ページ
議決結果 ……	4～5ページ	各常任委員会管内調査報告 ……	15ページ

11億7,820万3,000円追加し、 451億8,018万円に

【補正 第3号】

● 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費 3,673万円

Q タクシー運行委託料は、投票所が減ったことによる新たな取組であるが、利用人数は。

A タクシーを利用した実績は、4件の申込みがあり、5人の利用となっている。



【補正 第4号】

● 病院事業対策費（事業会計等繰出金） 2億円

Q 繰出金とは別に今後一時借入れを予定しているが、資金使途後、すぐに返済できるのか、一定期間借入れをするのか。

A 病院事業で現在4億円の一時借入れを行っているが、3億円の一時借入れを追加で行う予定である。そして、今後の資金繰りを考え、この一時借入れについては借換えで行っていく。返済については、新年度以降の収入の見込みを見ながら検討したい。

● スポーツ推進一般管理費 1,550万円

Q 市民スキーリフト割引券補助金は、具体的に幾らの補助になるのか。

A 定額補助で、1件3,000円である。割引券は1月を目標に、各世帯に配布する予定になっている。

※割引券は、市報令和7年1月号に折り込み済みです。

Q 健康ポイントをリフト券に交換できるのか。

A ポイントでリフト券を購入するということではなく、割引券を使ってスキー場に行った人に健康ポイントを付与するという形である。ポイントの景品にはリフト券もあるので、リフト券を再取得することも可能である。



● 企画一般経費 2,000万円

Q 企業版ふるさと納税基金積立金の内容は。

A 寄附者と相談させてもらい、五日町シャントエの改修費に充てたいと考えている。

● 少子化対策支援事業費 9万9,000円

Q ハートマッチにいがたの申込み申請が増え、既に5件が埋まったということだが、予算以上に増えた理由は。

A 令和5年は9か月で5件、令和6年は8か月で5件ほどで申請が増えたという認識はない。女性の登録者数が少ないことから、女性を対象としたライフデザインセミナーを予定しており、そこに参加した女性に対してハートマッチにいがたの登録を促す取組を今後考えており、登録者数が増えると思している。

● 常設保育園保育費 729万3,000円

Q 任用職員給料等の予算が上がっているが、年度途中の入園が増えたのか。

A 産休育休等の取得者が出て、代替りの職員をフルタイムで任用しないと対応できないため増額した。途中入園が多くなって対応したということではない。

令和6年度 南魚沼市一般会計補正予算（第3号・第4号・第5号）

一般会計補正予算（第3号）は専決処分による

Q & Aは一部のみ掲載しています

●雪資源活用事業費 700万円

Q 大阪・関西万博のイベントで雪を使うという説明だが内容は。

A 協議中の案件だが、につぼんの宝物グランプリを毎年開催しており、それを万博に出展する。雪室商品等、雪関連の事業等を世界にPRするということを目的に進めている。



●商工業振興補助事業費 22万円

Q 新しいポイントカードのPR費ということだが、具体的な内容は。

A 南魚沼サービス店会のカードが、令和7年4月から新しいものに切り替わる。これに行政ポイントが一緒に組み込まれる。図書館の本の貸出しや健康講座等にポイントを付与することを考えている。詳細が決まったら、議会にも知らせたい。

その他議案

第92号議案 南魚沼市小規模保育事業の実施に関する条例の制定について

市の説明概要

園児数の減少に対応した適切な保育規模の保育園が必要である。また、乳幼児の途中入園の希望に対応するためにも、0～2歳児を対象とする公立の小規模保育事業を実施するために条例を制定したいもの。

賛成討論	反対討論
子どもたちを育てていく上で不安要素はあるが、急激な子どもの減少を理解して、今後も保育事業に臨まなければならないため賛成する。	子育て事業について、全体の計画も示されず、説明も議論もなく進めることは時期尚早である。変更するには十分な論議が必要であり、今回はそれがなされていないため反対する。

◆賛成多数で可決

総務文教委員会 請願審査報告
(令和6年12月10日(火))

請願第3号

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働は正に係る意見書の採択を求める請願書

○委員会において討論なし

◆委員会において全会一致で採択すべきものと決定

※本会議において討論なしで、全会一致で採択

社会厚生委員会 請願審査報告
(令和6年12月12日(木))

請願第2号

年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願

○委員会において賛成討論1件、反対討論2件

◆委員会において賛成少数で不採択とすべきものと決定

※本会議において賛成討論1件、反対討論なしで、賛成少数で不採択

議案番号	市長提出議案	議決結果
第 118 号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例及び南魚沼市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第 119 号議案	南魚沼市職員の寒冷地手当の支給に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第 120 号議案	南魚沼市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
番号	請願	議決結果
請願第 2 号	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願	不採択（賛成少数）
請願第 3 号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の採択を求める請願書	採択（全会一致）
番号	議員発議	議決結果
発議第 6 号	南魚沼市議会基本条例の制定について	可決（全会一致）
発議第 7 号	南魚沼市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	否決（賛成少数）
発議第 8 号	南魚沼市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
発議第 9 号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	可決（全会一致）
発議第 10 号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の提出について	可決（全会一致）

賛否 一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 棄=棄権 欠=欠席 除=除斥

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長裁決となります。
※除斥（じょせき）とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加できない制度です。

会派	南魚みらいクラブ								歩む会			市民クラブ				未来創政会			日本共産党議員団		
氏名	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三	中沢一博	川辺きのい	中沢道夫
第 92 号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
第 104 号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第 116 号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
第 117 号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第 118 号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 119 号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 2 号	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
発議第 7 号	×	×	×	※	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×

議員の欠員 について

黒岩揺光議員が現職のまま南魚沼市長選挙に立候補したため、公職選挙法第 90 条の規定により、令和 6 年 11 月 17 日付けで市議会議員の職は自動失職となりました。このことにより、定員 22 人に対し、現在の議員数は 21 人（欠員 1 人）となりました。

令和6年12月定例会の全議決結果

(傍聴者 延べ39人)

議決結果の詳細はウェブサイトでご覧いただけます➡



議案番号	市長提出議案	議決結果
第17号報告	専決処分した事件の承認について(令和6年度南魚沼市一般会計補正予算(第3号))	可決(全会一致)
第86号議案	令和6年度南魚沼市一般会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
第87号議案	令和6年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第88号議案	令和6年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第89号議案	令和6年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第90号議案	令和6年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第91号議案	南魚沼市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	可決(全会一致)
第92号議案	南魚沼市小規模保育事業の実施に関する条例の制定について	可決(賛成多数)
第93号議案	南魚沼市印鑑条例の一部改正について	可決(全会一致)
第94号議案	南魚沼市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第95号議案	南魚沼市職員定数条例の一部改正について	可決(全会一致)
第96号議案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	可決(全会一致)
第97号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決(全会一致)
第98号議案	南魚沼市放課後児童クラブ条例の一部改正について	可決(全会一致)
第99号議案	南魚沼市下水道条例の一部改正について	可決(全会一致)
第100号議案	南魚沼市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第101号議案	南魚沼市保育園条例の一部改正について	可決(全会一致)
第102号議案	南魚沼市無電柱化推進基金条例の廃止について	可決(全会一致)
第103号議案	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	可決(全会一致)
第104号議案	八海山麓観光施設の指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
第105号議案	南魚沼市農産物・特産品直売所の指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第106号議案	南魚沼市事業創発拠点の指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第107号議案	南魚沼市副市長の選任について	議案取り下げ
第108号議案	南魚沼市監査委員の選任について(片桐真司氏)	同意(全会一致)
第109号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について(川島亜紀子氏)	同意(全会一致)
第110号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(酒井由美子氏)	同意(全会一致)
第111号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(清水明氏)	同意(全会一致)
第112号議案	令和6年度南魚沼市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第113号議案	令和6年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第114号議案	令和6年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第115号議案	令和6年度南魚沼市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第116号議案	南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第117号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例及び南魚沼市病院事業管理者の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)



通告書はこちら

各議員の氏名の下の QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたたずもの。



歩む会

鈴木 一

はじめ



市長選挙の投票率低下をどう捉えているか

Q 投票所の集約で経費削減にはなるが、投票率の低下につながっていないか。

A 投票所を22か所、掲示板は99か所減らし、経費は市長選挙では410万円ほど削減になった。投票所を減らしたことが投票率低下につながっているとは思わない。

選挙への関心度、候補者同士の拮抗具合で何人出馬しても同じだと思う。タクシー利用の投票も行ったが、利用者は少なかつた。今後は制度の周知を図り登録者数を増やしていきたい。加えて移動期日前投票所を5地区で実施し、20.7%、69人の投票があった。地域の人からも喜ばれており、手応えを感じている。また、周辺市町からも高い評価があり、今後も地区を増やして対応していきたい。

有害鳥獣対策の窓口を一本化できないか

Q 猟友会から鳥獣対策の窓口を一本化できないかとの声があるがどうか。

A 省庁の区分けで農林水産省、環境省に分かれている。市でも国・県に合わせた体制が効率的と考えて分けているが、サービスマンにおいては対応や対策に支障があると考えている。幾つかの市町村では窓口を一本化しているところもある。

猟友会の声だけに限らず、農業関係者、市民の安心安全といった面からも、市にとってどういう体制が望ましいのか十分検討していきたい。ワンストップでの対応が猟友会のみならず、市民へのサービスと考えている。 ※現在、農林課は北分館二階・環境交通課は本庁舎二階に事務所があります。



未来創政会

永井 拓三



全分野への奨学金制度の拡充を

Q 医療関係以外に拡充する考えはないか。

A 令和6年度、返済不要の奨学金が創設できた。これは寄附に基づいてつくられたもので、分野の選択においては今後の課題になると思う。現行制度は市に足りない人材の育成に限り施策展開を行っている段階で、今後はどのように発展させられるかが課題と考える。

移住定住施策について

Q 住宅に関しての施策はどうか。

A 市民や移住者が使いやすい市営住宅などの長寿命化計画については、令和5年度から大規模改修工事に着手している。大規模改修以外にも個別の部屋の改修も行っており、

物件の魅力増加に努力している。

Q 市内スキー場共通リフト券の購入範囲を広げることができないか。

A 対象範囲を広げることに関しては、南魚沼市スキー場協議会から理解を得ることは難しい。スキー場のリフト券については12月定例会初日の補正予算審議で可決してもらった。市内に住む18歳以上を対象にリフト1日券購入に対し3,000円を割り引き、市民の健康増進と運動の習慣化も含めて、新しい角度の制度にした。

Q 首都圏への通勤に対する交通費補助に関してはどうか。

A 市内から首都圏への通勤補助は、当市では時期尚早だと考えている。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



未来創政会
おお だいら
大 平

ごう
剛



産業振興のためにやるべき施策を

Q 企業誘致、企業立地のさらなる促進への考えは。

A 平成16年度に企業立地推進条例を制定し、令和5年度に条例の一部改正を行った。奨励措置を受けられる新規常用雇用者数などを変更し、規模や雇用人数がそれほど大きくない場合でも、雇用奨励金や用地取得費の10%、上限5,000万円の奨励措置が適用されるようにした。

市内に進出を考えている企業のニーズに応えられるよう、民有土地、物件についても常にテナを張りながら情報収集に努めている。

少子高齢化や人口減少などによって、労働力不足が顕著になってきていることで、多くの労働力を必要とする企業の場合、人材確保が難しいかもしれない。しかし、地域経済を維持し

ていくためには、多様な企業の立地が非常に大事なことであり、引き続き企業誘致、また企業立地の促進に取り組んでいきたい。

Q ふるさと納税の返礼品制度を利用した産業基盤の安定と産業育成への考えは。

A 制度への取組当初は、デザイン、付加価値のつけ方など、手探りな状況であった。その後数年を経て、雪室の活用によるこの地ならではの付加価値化やデザインのブラッシュアップなども含めて、非常に大きな変化があった。そうした取組が、返礼品制度を利用した産業基盤の安定や、産業育成につながっていると考えている。



市民クラブ
さ とう
佐 藤

つよし
剛



次期総合計画と林市政の3期目の行財政運営は

Q 総合計画は、計画期間が長く総花的で、財源が量りづらく、成果も見えにくい。ため形骸化しているように感じているが、次期総合計画策定の考え方は。

A 第3次総合計画は令和7年1月の審議会で議論し、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造、10年の計画期間は従来の方法を基本に検討したい。また、総合戦略を一体的に策定し、少子高齢化等人口減少問題に対応しながら進めたい。

るを量りて出ざるを制す」財政運営が必要ではないか。

A 計画に現実がどう追いついてくるかということから、財政計画と実施計画を連動して、毎年3年先までの計画を立てて予算としていくことから「入るを量りて出ざるを制す」となっている。次期総合計画でも財政計画も策定し、実施計画との実効性を確保したい。

Q ビジョンがなければ計画は出ない。計画がなければ施策や事業もない。財源がなければ事業ができない。3期目を迎え、若者就業や産業を創出し、安心感のあるまちづくりをどう進めるかビジョンを問う。

A ビジョンでは負けていると思っていない。観光資源、雪など今まで展開してきたところに新たな産業振興、雇用創出を絡めていかないと、上滑りの話になると思う。そういう中で進めていきたい。



通告書はこちら

各議員の氏名の下に QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすもの。



南魚みらいクラブ

目黒哲也



業務委託契約に係る入札を改善してはどうか

Q

建設工事に関わる入札には最低制限価格を導入している。業務委託に係る入札にも安全な現場環境の保全、従業員の賃金の確保、適切な下請業者への発注等を担保するため最低制限価格を導入すべきと考えるが。

A

測量調査等の業務委託は、適正な水準で契約がなされ、品質確保にも支障を来す状況にない。建設コンサルタント業を含む建設業者においては最低制限価格制度を適切に活用することが公共工事の品質確保につながる。地域を支える企業の維持存続の一助となると認識している。今後、建築設計以外の業務委託においても最低制限価格制度の導入に向けた準備を進めていく。

六日町駅前ロータリーの利便性を向上せよ

Q

現在、市民や民間企業の送迎車、送迎バスが待機するスペースがない。ロータリー敷地内の使い方を工夫したり、新たなプランニングをすることによって市民、民間企業、運行業者にとって、より利便性が高められると考えるが。

A

ロータリー内には一般車両専用のスペースがないことから様々な車両が混在し、特に朝夕の混雑時にはバス、タクシーと一般車両の動線が重なる状況になっている。現在の駅前広場区画内のプランニングだけではバス及びタクシーの停留台数や通り抜け車両の通行を考慮すると、安全で利便性の高い一般車両専用の駐車スペースを確保することは、現時点では非常に難しい状況だと思っている。



日本共産党議員団

中沢道夫



国の重点支援交付金を活用して困窮者支援を

Q

コロナ禍や物価高騰により貧富の差が拡大し、生活困窮者が増えている。そうした中で、重点支援交付金の活用事業は、生活困窮世帯や介護・福祉分野に対する支援を重点にすべきではないか。

A

国から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の配分額が示された際には、積極的に交付金を活用したいと考えている。指摘の点を重点にすべきとの話を踏まえて、いろいろ考えたい。

Q

灯油購入補助事業は市民に喜ばれているが、県の拠出と同額の助成ではなく、市独自の上乘せを行うべきではないか。

A

令和5年度は1世帯当たり5,000円を助成し、県よりも対象者を広げた。令和6年度も、少しでも心に灯がともされるよう、必要に応じた支援をしていきたい。

Q

今年の冬は大雪になるとの予報もある。高齢者及び要配慮世帯の除雪支援事業に期待するところは大きいが、しかし、屋根雪除雪が生活路除雪のどちらかを選択しなければならぬ。また利用できる範囲も屋根雪では24時間、生活路の除雪では3万円の上限が決められている。このような内容で十分対応できると考えているのか。

A

その年の雪の降り方により、豪雪の際には上限額の引上げ等の対応も行ってきた。市は決して冷たい行政ではない。生活路の除雪については、令和6年度から事業を開始したので、実施状況等を確認しながら、前に向かっていきたい。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



南魚みらいクラブ

吉田光利



ふるさと納税返礼品「シヒカリ」の品質保証は

Q 南魚沼産であることの産地証明が重要と思うが、現状の証明方法はどうか。

A 食品表示法、米トレサビリティー法等の法令に遵守し、参加時及び年一回、産地が記載された書類の提出や、必要により品質管理の状況報告を求めている。

Q 市の全収穫量と返礼品での使用量と占有率はどうか。また、他地域米の混じりの検証は可能か。

A 令和5年度推計では、全収穫量は2万5,400トン、返礼品は1,890トンで約7.4%である。保有米、一般商品、民間業者による販売など多岐に渡り、混じりの検証は難しい。

Q 品質検査を義務付けることはできないか。

A 理想的ではあるが、現行のふるさと納税制度では必須でない。研修会等で強く伝えている。

Q 生産者及び取扱業者の認定基準はどうか。

A 市の許認可を受け、市内に事業拠点があり、品質管理及び安定的供給が可能で市税に滞納がなく、暴力団関係者ではなく、インターネット環境が整っていることの7項目である。

Q おぎなりの講習会ではなく、受けなかったら注意、催促し、講習を受けた人に修了証を発行してはどうか。

A 感銘を受けた指摘であり、受けたい人は権利を剥奪するなど厳しい対応をとる思いもある。修了証の発行は検討する。



歩む会

牧野の



若者が帰って来られる故郷になるよう支援を

Q 奨学金返還支援事業を始めてはどうか。

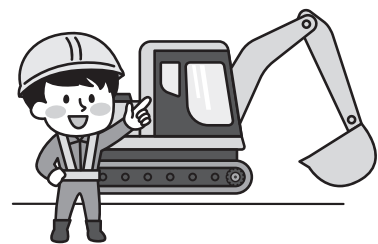
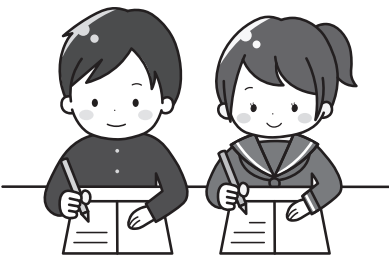
A 奨学金制度を利用している人と利用していない人で、不公平があってはいけないことから、これまで導入には慎重な検討が必要であると繰り返し答弁してきた。

しかし、人手不足の問題も非常に深刻になってきている。移住住居の選択肢にもなり得るため、令和7年度に行えるかどうか検討する。

地元企業の優先を

Q 市内業者を存続させることは大事だ。多少高額になっても、市内業者が落札できるようにするべきだ。10年前は、人手不足はそれほど強く言われていなかったが、現在は人手不足の中、生き残りをかけて事業をしている。地元優先の考えを強く持つべきではないか。

A 可能な限り市内業者の受注機会を確保し、適切な入札の執行に努めていく。一生懸命そういう方向に向かって取り組んでいきたい。





通告書はこちら

各議員の氏名の下 QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたただくもの。



市民クラブ

寺口友彦



ペットボトル協定で収集方法が変わるのか

Q 大塚製薬株式会社、株式会社魚津清掃公社、豊田通商株式会社とペットボトルの資源循環水平リサイクルに関する協定を結んだが、収集方法は変わるのか。

A 今までは容器包装リサイクル協会の入札で、半年ごとに業者が変わり、自治体は再資源化の用途を指定できなかったが、この協定ではペットボトルをペットボトルに再生することが市民に明確に周知できる。市のペットボトルは資源化の点で特Aの評価を受けており、協定締結に至った。この協定による収集方法の変更は特にない。事業所から出るものは産業廃棄物になる。

担税力のある若者の所得向上策は

Q 市のまちづくりアンケートで、働く環境としての市の魅力の結果は、魅力を感じないが45%、どちらともいえないが39.5%だった。魅力を感じない理由は、給与水準が低い40.6%、雇用の場が少ないが22.9%だった。若い世代の所得向上のために働く環境の魅力づくりをすべきだ。

A 松井基金を活用し、若い起業家が増えている。市にはある程度魅力があると思う。アンケート結果はなかなか評価が難しい。都市圏と比べて所得は低い、都会は生活費がかかる。所得だけではない、様々な暮らしやすさという観点を強調しなければならぬのではないか。

健康保険証の新規発行停止の問題と課題について

Q これまでは黙っていて健康保険証が届き、何も問題がなかったのに、政府は健康保険証の新規発行を停止した。国民の不安や、残してほしいという多くの願いにこたえられず、マイナ保険証への一本化が強行されたと考えるが、どう認識しているのか。

A 国を挙げて医療DX推進を図っている。問題点や課題が全くないとは言えないが、受診する際に不便をかけるいよう、システム改修、事務マニュアルの見直し、広報啓発などの準備を進めてきた。新たな制度に慣れ、定着するまで少し時間が必要だと思う。全国一律の制度であり、国の運用指針にのっとり、着実に進めていくことが市の役割であると認識している。



日本共産党議員団

川辺きのい



学校給食の無償化について

Q 少子化対策、経済負担軽減を理由に、全国で無償化を実施している自治体は3割を超えた。市長が言っているとおり、給食費の無償化は国が行うべきだとは思っている。しかし、国は検討するとしながら具体化しない。市でも給食費の無償化に踏み出し、若い世代が子どもをもち、育てようという選択ができるよう、国の背中を押すことが大事ではないか。

A 給食費が無償化されたら子どもを産むのか。今回選挙があり、相手候補は給食完全無償化を唱え、そのために基金を使うと言った。しかし、市民の判断は、投票した約8割がそちらを選択しなかった。私の持論だが、子どもに御飯を食べさせるのは親としての矜持ではないかと思う。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



歩む会
勝 かつ
又 また
貞 さだ
夫 お



防犯カメラやドライブレコーダーの設置を進めよ

Q 現在の防犯カメラの設置状況と、未設置の公共施設についての今後の考え方はどうか。

A 小学校と総合支援学校については設置が完了した。市民会館には5台を設置し、令和6年度中にとあと2台の設置を予定している。未設置の施設については、必要性に照らして設置することが重要と考えている。

Q 公用車のドライブレコーダーの取付け状況と、今後の取付け予定はどうか。

A 市の車両が運行するバスについては、全33台に設置が完了した。職員が使用する公用車は149台中、現在27台に設置している。ドライブレコーダーの重要性は十分理解している。今後も着実に設置を

進めていく方針に変わりはない。



ドライブレコーダー

文書管理の電子化（D×推進）の予定は

Q 市の様々な部署における文書管理の改善の必要性が問題になってきた。文書管理の電子化に伴う時間や予算についての問題点は何か。

A 令和7年度に内部情報系システムの更新がある。これに文書管理システムを加えることを前提に、システムの選考を行った。このシステムは令和9年3月からの稼働を目標にして必要な予算を計上し、庁内に作業部会を設置する。



未来創政会
中 なか
沢 さわ
一 かず
博 ひろ



令和7年度予算に具体的総合支援策を

Q 少子化対策は未来に向けた重要な政策課題である。子ども医療費助成を高校3年卒業まで無償化にできないか。また若者が帰って来たい南魚沼市へ、奨学金制度の拡充が必要と考えるが。

A 子どもの医療費助成を必ず拡充したいと考えている。また令和6年度から始めた返済不要の給付型奨学金や、若者が帰って来たい南魚沼市へ、事業者と共働して移住定住も含め支援制度を充分検討したいと考えている。

Q 市の単身高齢者は15年間で倍増している。市を築いた高齢者が安心して暮らせるよう、総合的な支援が必要と考えるが。

A 非常に大きな課題と考えている。市内12か所に

ある地域づくり協議会へ職員を派遣する方向で取り組んでいきたい。住み慣れた地域で希望をもって自分らしく暮らし続けてもらいたいと思っている。

Q 災害時に備えたトイレトレーラーの早期配備を。

A 災害時のトイレの問題は重要な課題と認識している。衛生的なトイレを確保することは大変重要なことであり、早期に配備したいと考えている。

Q 観光産業である夏季合宿誘致の支援策を。

A 新型コロナウイルス感染症の影響で合宿客を受け入れられない状況が2年続いた。市有施設使用料の全額補助は復興支援として、市内経済の活性化にかなりの効果があったと判断している。現時点で継続はないが、状況を見ながら考える必要があると思っています。



通告書はこちら

各議員の氏名の下に QR をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

一般質問とは・・・議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすもの。



南魚みらいクラブ

塩川 裕紀



避難所のスピード設営と充実について

Q 避難所開設における市民連携の仕組み構築の考えは。

A 避難が中長期に及ぶことが想定された場合、避難所運営は市だけではできない。行政区や自主防災組織を頼りにしている。さらには、防災士資格を有する一般社団法人防災活動センターの意見も聞きながら、地域の人たちと具体的な連携の仕組みについて話し合っていきたい。

Q 避難所にLPガス供給設備を常設する考えは。

A LPガスには通常のガスボンベやバルク貯槽があることができる。送電線の鉄塔や電柱が倒壊するなど、大規模な停電が長期間にわたって続くような状況においても、送電



南魚みらいクラブ

桑原 圭美



林市政三期目の財政運営について

Q 大規模な投資事業に対する財政運営と財源確保の見通しは。

A 可能な限り国庫補助金を活用すること、一般財源分については、交付税措置のある起債を基本とし、ふるさと応援活用基金を活用して財政負担を抑える。

Q 県内の医療機関が経営難の中、積極的投資を続ける病院事業の経営戦略は。

A 持続可能な体制を構築するため、医療の再々編を行っている。設備や人員などで先行投資をしなければならず、大変厳しい状況に置かれるが、令和8年度以降の経営改善に向けた投資である。

Q 急激に少子化が進む中、学校統廃合による校

A 学校の統廃合については、学区再編等検討委員会の「小学校は中学校区単位ごとに1校に統合。中学校は当面の間、現状を維持する。また大規模校に集約するのではなく、地域の合意形成による」との答申を踏まえ事業化を進めたい。

Q 新ごみ処理施設の増大した建設費と運営費は健全財政を担保できる事業規模か。

A 財政調整基金の積み増しと、ふるさと応援活用基金で対応し、原資の確保に努める。財政の健全化は必ず担保できる。

Q いずれ更新時期を迎える本庁舎の在り方は。

A いろいろな議論が必要時期は未定であるが、ふるさと納税を基金に積立てながら来べきときに備えたい。

インクルーシブ公園について

Q 障がいがあっても遊べる遊具を公園に設置する考えは。

A 現状として市内の公園については設置している実態はほぼない。一気に交換はできないかもしれないが、拠点ごとに進めていくことも十分考えなければならぬ。

※インクルーシブとは、あらゆる人々を平等に受け入れ、参加でき、尊重することを指します。

一 般 質 問

一般質問は質問順で掲載しています。
Q&Aは一部のみ掲載しています。



市民クラブ
田中せつ子



地域の声に沿った中学校 校部活動の地域移行を

Q 国の地域移行実証事業を活用した支援の現状は。

A 令和5年度は総額255万円のうち国・県・市が3分の1ずつ負担。令和6年度は市の負担額は少なくなる。多くのクラブが参加できるように調整を進める。

Q 指導者への謝礼等は他市の事例も参考にしているか。

A 近隣市の取組等を参考にし、当市の特色を生かす。謝礼等は専門部会で検討協議する。

Q 人材確保や地域クラブ運営補助金等の体制づくりの考え方は。

A 生涯スポーツ課が人材バンクの立ち上げを準備している。地域クラブ創設期は

金銭的支援が必要だが、やり方は検討したい。

駅周辺の利便性向上を 推進せよ

Q 浦佐駅の市営駐車場は駐車スペースが不足しているので整備を。

A 令和6年11月にラインを引き直し95台区画整理を実施したので、新たな整備は考えていない。

Q 浦佐駅の駐車場周辺は街灯が少なく危険だが、増設は検討するか。

A 出入口に照明を1基設置している。犯罪防止に配慮して、必要であれば増設を検討したい。

Q 浦佐駅と六日町駅の駐車場整備をどう進めるか。

A 利用状況を見ながら整備を検討したい。



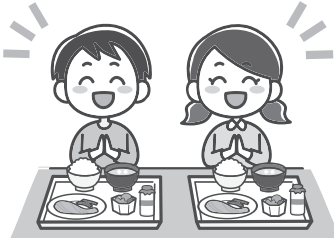
市民クラブ
梅沢道男



統合給食センターの進捗 状況と業務の円滑移行を

Q 統合学校給食センターの整備が遅れているようにだが、その進捗と給食業務の円滑な移行への影響は。

A 設計後の協議に時間を要し、工事着手が遅れたことから、令和7年12月完成の予定で、工事を進めている。12月竣工となるため、給食業務の移行は、2月の週末と短い春休み期間などを利用し、準備期間を確保する。栄養教諭は、配置基準では2人だが、県教育委員会には加配1人に加え、特別な配慮を強く求めている。



Q 統合給食センターは、一般食のラインに加え、新たにハラル食対応のラインも整備される。年度が変われば県とも、県配置の栄養教諭の協議が始まっていくが、栄養教諭の配置はどのようなスタンスで、県に要望・交渉していくのか。

A 県とはしっかりと情報共有し、統合給食センターが確実にスタートして安全な給食提供ができるように、進めたいと思っている。

Q 大和給食センターは、平成30年の2学期から3年半の間、市で栄養教諭1人の加配を付けて運営し、その後、ようやく県の加配となった経過がある。1人の加配と特別な配慮を、何らかの形で、市も加わるかもしれないが、実現するよう取り組んでもらいたい。

A そこはしっかりと状況をしながら進めていく。

令和6年度 行政視察の受入状況

5月29日	栃木県那須町議会	9人	・ヤマト運輸(株)東京支社南魚沼コールセンターの誘致について ・道の駅への医療施設の誘致について
7月9日	和歌山県みなべ町議会	16人	・行政全般について ・日本一の米産地の現状について ・日本の食文化の推進に向けた取組について
8月26日	新潟県魚沼市議会	1人	家庭教育支援チーム「だんぼの部屋」について
10月17日	栃木県下野市議会	10人	ふるさと納税について
11月5日	山形県米沢市議会	23人	・ふるさと納税の取組について ・塩沢牧之通りについて
11月11日	長野県原村議会	8人	「自転車を活用したまちづくり」及び「自転車による地域ブランドの確立に向けた取組」について
11月12日	群馬県沼田市議会	8人	景観の形成及び保護に係る取組について



下野市議会



那須町議会



みなべ町議会

議会改革特別委員会

報告

令和4年2月28日に委員会を設置し、各会派に意見照会を行いながら議会基本条例制定に向けて調査を重ね、委員会での協議が整いました。タブレット導入については、議会先行で導入することになりました。

今後は、議会基本条例の協議の中で出てきた現状の課題、意見を洗い直した中で、令和7年9月定例会に提言ができるように取組を進めていきます。

発議

南魚沼市議会基本条例について

◆全会一致で可決

議員定数調査特別委員会

報告

令和6年3月21日に委員会を設置し、計8回の委員会を開催しました。委員会で協議を行った結果、一番多かった意見である現状維持について、討論を行った後、起立採決の結果、賛成多数で議員定数は現状維持とすることに決定しました。委員1人から少数意見の留保について申出があり、賛成者1人の確認ができたため、少数意見報告書が委員長経由で議長に提出されました。

少数意見の留保とは

委員会の表決の結果、多数を得られず取り上げられない意見について、本会議において自ら少数意見として報告する権利を保持しておくこと。

※本会議において、少数意見の留保者から定数2人減とする条例改正の発議がなされ、賛成少数で否決されました。

委員長報告

本会議での各常任委員長からの報告を掲載しています。

総務文教委員会 管内調査

期日：令和6年10月16日(水) 会場：委員会室

調査内容

- 1 部活動の地域移行の現状と課題について
- 2 豪雨災害に備えた防災・減災体制の現状と課題について
- 3 地域づくり協議会の役割と現状、今後の方向性について

産業建設委員会 管内調査

期日：令和6年10月24日(木) 会場：委員会室

調査内容

- 1 市民バスについて
- 2 農業の渇水状況について
- 3 「道の駅 南魚沼」再整備事業 基本構想の進捗状況について

社会厚生委員会 管内調査

期日：令和6年10月15日(火) 会場：委員会室

調査内容

1 南魚沼市医療の再々編について

入院機能の集約を図り、市民病院における大和地域の入院患者数は、全体の中で18%程度まで増えてきている。また病床稼働率は100%を超える病棟もあり、救急患者の対応もあることから増床を検討している。訪問介護事業の状況については、2つの事業所が廃止となったことから、市民病院訪問介護事業所に対応することから、ゆきぐに大和病院は令和6年11月から診療所となり、新たな取組として薬剤師によるまちの保健室をスタートする。訪問診療は、従来どおり約60人を手分けして実施しており、加えて八色園、雪椿の里の健康管理も定期的に行う。ゆきぐに大和訪問看護ステーションは、24時間体制で約60人に対応している。今後、市民病院を退院した大和地域の患者の利用は増えていく。ゆきぐに大和ホームケアステーションは、介護支援専門員3人体制で、在宅介護を重視する方向性である。

新健診施設等建設事業の進捗状況については順調に進んでおり、新しい駐車場は供用を開始している。

新たに（仮称）南魚沼市民病院附属石打丸山スキー診療所を冬季シーズン開設する。医師は昭和大学から診療所と市民病院にそれぞれ1人ずつの計2人を配置してもらえらる予定で、看護師は2人の雇用を予定している。

2 新ごみ処理施設の進捗状況について

新ごみ処理施設建設は、令和13年度の供用開始に向けて進んでいる。基本設計、生活環境影響調査が完了した。建設予定地である旧し尿処理施設の解体設計業務を発注し、令和7年度から予定している解体工事の準備も進めている。それに伴い管理事務所は、現可燃ごみ処理施設に隣接する市有地に事務所を建設し、令和7年度前半の移転を予定している。

環境省の通達により、施設規模設定の基準となる年間標準稼働日数が年280日から年290日に変更され、1日当たり処理量は93トンから7トン減の86トンへ計画規模が縮小になった。

事業方式は総合的に評価した結果、最も有利なDBO方式で事業を進めることに決定した。事業者選定等支援業務委託は、公募型プロポーザルにより、令和6年9月に事業者を決定した。

3 子ども・子育て支援事業計画について

現在、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けてニーズ調査などの分析を進めている。今後は令和7年1月にパブリックコメントを行い、令和7年3月の子ども・子育て会議にて正式に決定した後、公表することを考えている。

その他として「国民健康保険における保険料水準の統一について」の報告があった。

3月 議会 カレンダー (予定)

3月3日	月	本会議	13日	木	本会議 (予算審議)
4日	火	本会議	14日	金	本会議 (予算審議)
5日	水	社会厚生委員会	15日	土	休会
6日	木	産業建設委員会	16日	日	休会
7日	金	総務文教委員会	17日	月	本会議 (予算審議)
8日	土	休会	18日	火	本会議 (予算審議)
9日	日	休会	19日	水	予備日
10日	月	本会議 (一般質問)	20日	木	休会 (春分の日)
11日	火	本会議 (一般質問)	21日	金	本会議
12日	水	本会議 (一般質問)			

傍聴の ご案内

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階の議場で行います。ただし、3月3日は午後1時30分から開会を予定しています。どなたでも傍聴できますが、児童及び乳幼児が傍聴席に入るには議長の許可が必要となります。

詳しくは、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。

議会傍聴に来ませんか

市議会の活動を知ろう



1

市役所本庁舎の3階議場入口に「傍聴受付簿」があります。住所、氏名、年齢を記入し、「傍聴受付箱」に入れてください。



2

傍聴入口から入ってください。携帯電話や電子機器の電源は切りましょう。



3

空いている席に座ってください。傍聴席での録音や撮影、おしゃべりなどはできません。

事前の予約は必要ありません。ぜひ、生の議会を見に来てください。★お待ちしております★

毎年3月、6月、9月、12月に行われます。詳しい日程は、市報または市ウェブサイトで確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

議会だよりのご意見、ご感想をお待ちしております！

宛先：議会事務局（☎773-6650）またはQRコードをご利用ください。



編集 後記

新たな年の初めを迎え、皆さまには健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。蛇は脱皮をすることから、巳年は新しいことが始まる年になると言われています。昨年、市制施行20周年を迎え、もっと新しく、もっと南魚沼らしく、新たな出発に相応しい年でありたい。古い殻を破って脱皮し、計り知れない生命力で再生を続ける蛇(SNAKE)、しっかりと覚悟と果敢な勇気をもって、長蛇を逸することなく新しいステージへ踏み出す一年としたいと思います。皆さまも今まで胸に秘めてきた夢、着々と準備してきたことに思い切つてチャレンジして、より佳き年となりますことを祈念申し上げます。

目黒 哲也

議会広報編集特別委員

委員長 大川 辺 きのい
副委員長 目黒 平 剛
委員 梅田 哲 也
委員 塩川 裕 紀
委員 牧野 晶

〃〃〃
〃〃〃
〃〃〃